

# まごし帝介プロフィール

マゴシ 馬越  
タイスケ 帝介

昭和32年(1957年)8月21日生れ  
山口市立大歳小学校卒、鴻南中学校卒  
山口県立山口高等学校卒(82期)

昭和56年 3月 中央大学経済学部卒  
昭和56年 4月 羽田コンクリート工業株式会社  
(現、ベルテクス株式会社) 入社  
平成02年 8月 協業組合 馬越工業 入社  
平成13年 12月 株式会社 馬越工業 代表取締役  
平成26年 4月 山口市議会議員初当選  
平成30年 4月 山口市議会議員当選(2期目)  
現在に至る

## 現職(令和4年2月1日現在)

山口商工会議所 議員  
(工業部会 副部長)  
山口法人会 理事 広報委員長  
山口県防衛協会山口支部 理事  
大歳まちづくり協議会 会長  
大歳小学校・鴻南中学校学校運営協議会 委員  
大歳商工業振興会 顧問  
湯田温泉料飲社交組合 相談役  
湯田地区商工振興会 役員  
NPO法人歴史のまち山口を甦らせる会 理事  
NPO法人湯田温泉駅賑わい 理事  
山口市ふるさとまつり実行委員会  
山笠巡行実行委員長

## 議員職

所属党派 自由民主党山口 代表  
所属常任委員会 生活環境委員会  
所属特別委員会 議会改革委員会

## 現職

議会運営委員会 副委員長

## 元職

経済建設委員会 委員長  
市議会だより編集委員長



# まごし帝介の活動実績!



伊藤新市長と市政について



行政視察で委員長としてご挨拶  
(京都市)



青少協の会長として大歳小学校に  
マスクの寄贈



大晦日ぜんざいの準備  
(朝田神社)



大歳体育祭の競技に参加



お百姓さん稲刈り風景

## ● まごし帝介後援会会則 ● (抜粋)

- 1(目的) この会は「まごし帝介」の活動を支援し、会員相互の親睦を通して、住み続けたいふるさとの発展に資することを目的とします。
- 2(名称) この会は「まごし帝介後援会」と称します。
- 3(事業) この会は目的達成のため、会員の集会、講演会、出版などの活動を行います。
- 4(会員) この会の目的に賛同し、加入された方をもって組織します。
- 5(経費) この会の経費は寄付金、その他の収入で運営されます。

## 私も、まごし君を応援します。

まごし君を市議会へ送り出していただき、早8年、この間、経済建設委員長や市議会だより編集委員長などを歴任、現在、議会運営委員会副委員長として、議会の中枢で活躍いたしております。

また、地域においては、大歳まちづくり協議会会長としての手腕を発揮しております。

山口市の発展と市民の暮らしの前進のため、引き続き「まごし帝介後援会」へのご賛同とご入会を心からお願い申し上げます。

まごし帝介後援会 会長 多田 宏之



## まごし帝介後援会

馬越帝介のブログ



〒753-0058 山口市下市町6-21

Tel 083-922-1443

Fax 083-922-1487

みんなで語り、みんなで創る!



笑顔にあふれ、活力ある  
「やまぐち」をつくるために

# まごし 帝介

MAGOSHI-TAISUKE

後援会のしおり

# 6つの提案

笑顔にあふれ、活力ある山口をつくるために

## 1 持続可能な地域経済をつくるために



- 地元企業優先の事業発注体制
- 全ての産業における“地産地消”の推進
- 後継者育成や起業創業へのサポート体制の充実
- 農林水産業の更なる振興（ICTの積極活用）

## 4 豊かな自然と快適な暮らしが調和するまちをつくるために

- 農地や森林を守り、産業としての自立を目指す取組
- 温泉を生かした暮らしと観光が融合するまちの実現
- 自然災害に強いまちの実現（避難所等の拡充）
- 中山間地域における後継人材の育成



## 2 快適で住み心地の良いまちをつくるために



- 交通弱者に対する公共交通の提供と公共交通網の再構築
- 障害者と健常者が共に活躍できる共生社会の実現
- 地域包括センターの更なる適正配置と機能強化
- 一時救急体制の強化と二次救急病院の確保、充実

## 5 人が集い、活気とにぎわいのあるまちをつくるために



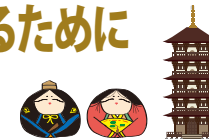
- 新型コロナウイルス感染症対策の充実強化
- 観光インフラの整備とアフターコロナを見据えた取り組み
- 滞在型・体験型観光を見据えた「山口の魅力」の再検証
- 国内外への積極的な情報発信（SNSの有効活用）

## 3 子育て世代にやさしいまち 教育環境の整ったまちをつくるために



- 通学路の安全確保
- “保育園”“放課後児童クラブ”における待機児童ゼロの実現
- 知育、徳育及び体育の基礎となるべき食育の充実
- ICT教育の充実と拡大（タブレットの有効活用）

## 6 歴史と文化を継承しつつ、新たな文化を創る事の出来るまちをつくるために



- 歴史的、文化的財産の積極活用
- まちやその空間に統一性を持たせるまちづくりの推進
- 「YCAM」所有の知的財産の有効活用及びビジネス化
- 伝統的地域行事の保全と積極的な情報発信

